

こまきこども未来館講座等開催業務委託プロポーザル実施結果

こまきこども未来館講座等開催業務委託プロポーザル審査委員会を設置し、審査を行った結果、技術的に最適な者として、特定非営利活動法人10人村を選定した。

1. 審査結果

技術的に最適な者	商号または名称	特定非営利活動法人10人村
	代表者氏名	理事長 虫明達夫

2. 審査日程

項目	日程
実施要領等発表	令和3年12月27日
質疑受付	令和3年12月27日 ～令和4年1月20日
質疑回答	令和4年1月24日
参加表明書等の提出期限	令和4年1月31日
書類審査	令和4年2月1日
企画提案審査（プレゼンテーション）	令和4年2月17日
結果発表（公表・通知）	令和4年3月3日

3. 審査委員会

区分	職名	氏名
委員長	こども未来部長	鍛冶屋 勉
委員	学識経験者	玉置 崇
委員	学識経験者	長江 美津子
委員	小牧市児童館運営委員会委員	植松 浩二郎
委員	小牧市児童館運営委員会委員	中野 江美子

4. 評価基準

審査	評価項目	評価事項
審査 書類	1 参加資格	実施要綱に定める失格要件に該当していないか
審査 企画 提案	2 事業の遂行能力	適正な職員配置がされているか
	3 講座等開催に対する考え方	業務内容および小牧市の課題や魅力に対する理解、提案の実現性等

5. 審査経過

<書類審査>（令和4年2月1日）

応募者1者に対し、書類審査を行った結果、参加資格を満たしていたため、企画提案審査（プレゼンテーション）の出席要請を行った。

<企画提案審査（プレゼンテーション）>（令和4年2月17日）

実施要領に示される評価基準に基づき、提出された事業計画書の内容審査を行い、こまきこども未来館講座等開催業務に技術的に最適な事業者を選定するため、委員が各評価事項に対する評価を行い特定した。

6. 総評および講評

本プロポーザルは、こまきこども未来館講座等開催業務に技術的に最適な者を特定するため公募型プロポーザル方式により実施した。

審査委員会では、業務の要件に十分に配慮されているかということについて、参加資格、事業の遂行能力、講座等開催に対する考え方等の3つの観点から審査を行い、以下のとおり講評することに至った。

○技術的に最適な者

市内の児童館運営やこれまでのこども未来館での講座等運営の強みや実績、また職員の人的ネットワーク力を活かした、「未来リテラシーを育む」というコンセプトを体現する提案であったため、業務に技術的に最適な者として特定するが、提案事業の実現にあたっては、外部講師による講座企画に留まることなく、様々なネットワークやスキルを持つ職員ひとりひとりの能力や意識向上を一層図り、いつ来館しても質の高い活動の場となるよう、来館する児童やその保護者との日々の関わりをこれまで以上に大切に提案事業の実現性を高めるよう求める。